



研修医 河村 仁道

はじめまして、本年度より神戸救済会病院で初期研修医としてお世話になります河村仁道と申します。生まれも育ちも大学も山口県ですが、長い間憧れた街である神戸の病院にご縁があって就職することができ、大変嬉しく思っております。この機会を無駄にせず、お仕事にも懸命に励む所存です。

趣味はカメラでの写真撮影です。大学時代に山口県を縦横無尽に駆け巡り、風景写真を数千枚撮ってきました。本年度からは兵庫県各地を旅して、風光明媚な場所を探したいと思います。おすすめの場所がありましたらぜひ教えていただきたいです。

現在は脳神経外科でお世話になっており、度々知識の不足や手技の難しさを痛感しているところ。一日でも早く戦力となり、お役に立てるよう日々精進しますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



研修医 中谷 友美

初めまして。今年度から神戸救済会病院の研修医として勤めさせていただいております中谷友美(なかに とみ)です。

出身は姫路で、出身大学は川崎医科大学です。大学での部活は武道に興味があったので、少林寺拳法部に所属していました。黒帯までとっておりますので、興味のある方はお声かけいただくと型を教えることはできます。趣味はサイクリングで、最近須磨海浜公園を走るのにハマっています。当院のぶちチャリンコ部にも所属させていただきました。私は、兵庫医科大学の研修プログラムにより当院に1年間の就職が決まりました。抱負は何事にも積極的に挑戦していくことです。1年という短い期間ですが、皆様と切磋琢磨し、かけがえのない1年にしていきたいです。まだまだ慣れないことも多く、ご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



研修医 鈴木 彩日

初めまして。この度、神戸救済会病院の初期研修医として働くことになりました鈴木彩日(すずき あやか)です。出身は神戸市中央区で、出身高校は神戸大学附属中等教育学校で出身大学は産業医科大学です。大学は福岡県の北九州市にあり、新日本三大夜景にも選ばれた皿倉山からの夜景が絶景です。焼きカレーもおいしいので是非足を運んでみてください。大学ではゴルフ部に入っていたのですが、最近全くできておらず練習しなければと思っています。当院での研修を志望した決め手となったのは、アットホームな雰囲気と手技を豊富に経験できることでした。たくさんの経験を積み、早く立派な戦力として活躍できるように日々精進していきます。まだまだ慣れないことも多く、たくさんご迷惑をおかけすることとは思いますが、一生懸命頑張りますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



研修医 後藤 大樹

初めまして。この度、初期研修医として働くことになりました後藤大樹です。出身は神戸市東灘区で、大学は大阪医科薬科大学で、高校は灘高校です。大学はもともと同志社大学法学部に進学しましたが、いろいろなかことがあって大阪医科薬科大学医学部に再受験する形となりました。大学では軟式テニス部に所属しておりました。趣味は映画鑑賞と麻雀です。働き始めてからはなかなか趣味にそむく時間をとれてはいませんが、仕事や新環境に慣れてきたときには、休みの日に映画も麻雀も全力で楽しんでいきたいと考えております。まだまだ慣れないことも多く、ご迷惑をおかけする機会もあるかとは思いますが一生懸命頑張りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



HOSPITAL NEWS 今号よりリニューアルしました。

2023年4月より
救急救命部が
発足!!

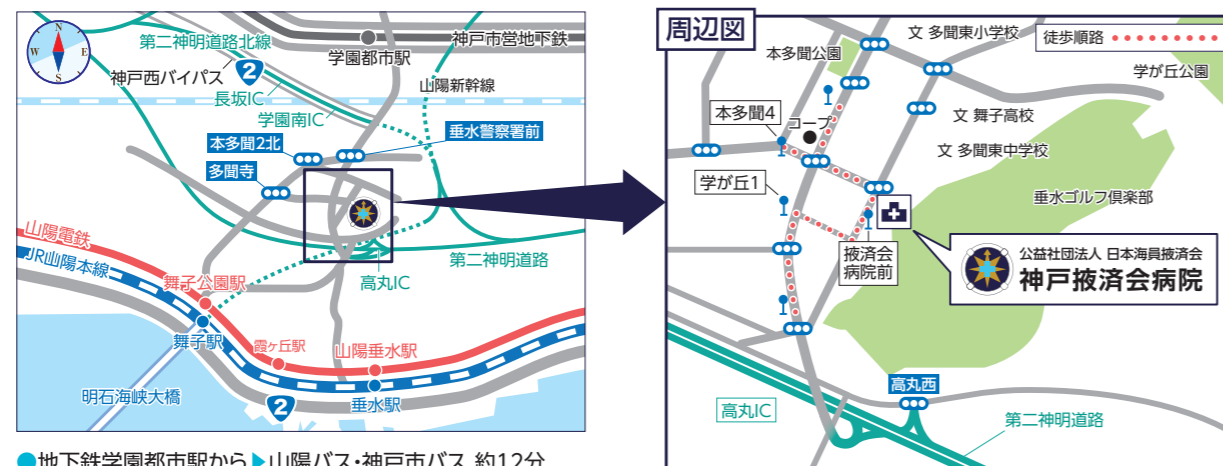


神戸救済会病院では、2023年4月より救急救命部が発足しました。また、6月より開業医の先生から受診依頼があった緊急度の低い患者さんに対して、当院の救急車で患者さんを迎へに行くシステムを始めました。開始後およそ2週間で、出動件数は20件を超えています。基本的には救急救命士が3名、場合によっては救急看護師1名が出動できる体制を整えています。救急車内ではバイタルサイン測定、酸素投与、口腔内吸引、創傷処置等を行うことが可能です。介護タクシー到着まで時間がかかりそ

うな場合や、救急車を呼ぼうか迷う場合には、是非、当院にご相談下さい。

地域の患者さんを地域で診るために、開業医や施設の先生方との連携を密にし、スムーズな診療、安心、安全な医療を提供していきたいと思ひます。

救急車のご利用に関してご不明な点がございましたら、当院地域医療連携室までご連絡ください。



- 地下鉄学園都市駅から山陽バス・神戸市バス 約12分
- 地下鉄名谷駅から山陽バス 約20分
- JR垂水駅から山陽バス・神戸市バス 約20分

こんな時は /
当院病院救急車をご活用下さい。



出動可能範囲
垂水区内

対応時間：平日 8:30 ~ 16:00
ご依頼は、地域医療連携室まで

2023年4月より、 患者サポートセンターが新体制となりました。

2023年4月より、患者サポートセンターが新体制となりました。地域医療連携室、入退院支援室、患者相談窓口、認知症相談窓口、脳卒中相談窓口の5部門から成り、現在のメンバーは医師2名、看護師6名、医療ソーシャルワーカー（以下、MSW）5名、事務員3名となっております。

以下、各部門の取り組みについてご紹介致します。

○地域医療連携室○

2023年4月より、救急・総合診療科の医師6名、救急救命士が6名に増員となりました。地域住民の皆様が、住み慣れた場所で自分らしく暮らし、調子が悪くなった際には、24時間いつでも安心して治療を受けて頂けるよう、救急受け入れ体制を充実させているところです。また、当院への検査予約や検査後の画像確認をより素早くスムーズに行って頂けるよう、オンラインシステムTONARI（地域医療連携サービス）の活用を進めています。



○入退院支援室○

当院では、入院患者さんのおよそ7割が緊急入院ですが、高齢化に伴い複数の疾患を抱えた患者さんが多く、退院困難となる方が増えています。入退院支援室では、患者さんが望む生活に近づけることができるよう真のニーズを捉え、MSW3名・看護師4名がそれぞれの得意分野を生かし、力を合わせて支援してまいります。退院前カンファレンスにおいては、地域の先生方にリモートでもご参加頂

くことができるよう、体制を整備してまいります。



○患者相談窓口○

1階受付カウンターに患者相談窓口を置き、看護師・医療ソーシャルワーカーが、ご相談に応じています。皆様から気軽にご相談頂けるよう、明るく元気良い対応を心がけています。厳しいご意見を頂戴することもあります。全てを前向きに捉え、より良い医療サービスが提供できるよう、一層努力してまいります。



○脳卒中相談窓口○

当院では、脳卒中の患者さんが入院中から退院後も切れ目なく適切なケアを受けられるよう、脳卒中療養相談士が中心となり、関係各所と連携を行っています。例えば、脳卒中発症後に高次機能障害が疑われ、生活や仕事に支障が出ている場合などの相談事例では、精査可能な医療機関や高次機能障害相談窓口など、支援が受けられる社会資源の情報提供や提案を行っています。

○認知症相談窓口○

認知症患者さんが、地域で安心して暮らせることを目標に、多職種連携を心がけ情報の共有を行いながら、患者さんやご家族の悩みに対して、認知症看護の研修を修了した看護師が相談対応を行っています。

国が目指す2040年を見据えた地域共生社会の実現に向け、地域の皆様方と共に地域医療に貢献できるよう努力してまいります。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

患者サポートセンター 副センター長 川村三代



新入職医師紹介



皮膚科 藤原 里紗

4月から赴任いたしました、皮膚科専攻医の藤原里紗と申します。1年目で分からないことがたくさんあり大変ですが、先生方のご指導の元、精進致します。大阪府出身ですが、中学から初期研修医まで神戸で過ごしています。美味しいものを食べることに、旅行が好きです。神戸でおすすめのごはん屋さんがあればぜひ教えて頂きたいです。垂水区の地域医療に少しでも貢献させて頂ければと思っております。至らない点も多々ありますが、よろしくお願い致します。



麻酔科 平井 優哉

4月に入職した麻酔科の平井優哉と申します。地元は徳島で出身大学は島根大学です。卒後はずっと兵庫県立病院で働いており淡路島や姫路でも生活しましたが、垂水が最長の8年目となりました。第二の地元と思える垂水で仕事ができることを嬉しく思っています。これまで手術麻酔を中心に集中治療にも従事してきました。ここでも手術室が円滑に運営できるよう手術麻酔に尽力していきたいと思っております。学生時代やコロナ前は草野球、ソフトボール、水泳、テニス、スノーボード等のスポーツを楽しんでいましたが、最近は家の中で飼い猫に猫じゃらしを振り回す程度の運動しかできていません。特にソフトボールはピッチャーも経験しておりこれからも続けたいと思っていますので、人員募集されているチームをご存知であれば是非一報ください。今後ともよろしくお願い致します。



眼科 松浦 信太郎

2023年4月1日付で、兵庫医科大学眼科より赴任して参りました、眼科の松浦信太郎と申します。眼科4年目であり、まだまだ未熟ではありますが、今後も研鑽を積み、地域の皆様に寄り添える医療を微力ながら提供できるように努力していきたいと思っております。まだまだ不慣れな点も多いとは思いますが、どうぞよろしくお願い致します。



救急・総合診療科 永田 謙太郎

永田謙太郎と申します。3月まで非常勤として勤務しておりました。4月から救急・総合診療科の常勤医として勤務致します。まだまだ若手ではありますが、全力で頑張りたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



皮膚科 竹内 千尋

2023年4月1日から神戸済済会病院に赴任して参りました皮膚科の竹内千尋（たけうち ちひろ）と申します。兵庫県神戸市の出身でしたので、御縁があって地元で働くことを嬉しく思っております。旅行が好きなのですが、コロナもあって出かけていなかったので、もう少し落ち着いてきたら、遠方に出かけたいと考えております。赴任して数ヶ月ですが、日々、多くのスタッフの皆様の手助け頂きながら診療させて頂いており、地域医療の診療活動の一助になれるよう努力して参りますので、今後とも何卒よろしくお願い致します。

「無料低額診療」をご存知でしょうか

経済的な理由により、必要な医療を受ける機会が制限されることのないよう、無料又は低額な料金で診療を行い、お金の心配をせずに必要な治療を受けていただける事業です。

地域に医療費の支払いを心配して受診をためらっている方
家族の介護で疲れて自分の時間が少しでも必要な方へ

救済会病院の無料低額診療事業・レスパイト入院をご紹介ください [詳しくはこちら](#)



制度の利用

1. 患者サポートセンター患者相談窓口にお申し出ください。
2. 事情をお聞きして基準に適合、申請の対象となると判断された場合、必要な書類をそろえていただき、申請をお受けします。
3. 病院内審査が行われます。
4. 審査結果をお知らせします。
5. 認定されることで窓口の負担金が免除されます。

